

第1回 庄原市 民俗芸能大会 出演団体決まる

面積1、246km²の広大な庄原市には、それぞれの地域で親しまれてきたすばらしい民俗芸能があります。国指定の2件をはじめ、国・県・市の文化財指定を受けた民俗芸能は、全部で15件にも達します。

私たちの庄原市は、まさに無形民俗文化財の宝庫です。

しかし、これらの民俗芸能が一堂に会する機会は、これまでありませんでした。好機が訪れたのは、平成19年2月。市内の国・県・市

指定無形民俗文化財の保有団体によって、庄原市民俗芸能振興協議会が結成されました。

協議会では、民俗芸能の保存・伝承・公開のため、相互に連携しあうことを申し合わされました。さらに、11月25日(日)、庄原市民会館で、市内の民俗芸能が一堂に会する「第1回庄原市民俗芸能大会」を開催することに決まりました。

6月には、庄原市民俗芸能大会実行委員会が設立され、会長の若林貴明さん(比和町郷土芸能振興会)を中心に、着々と準備が進められています。

このたび、出演団体と演目も決まり、いよいよ本番へ向けて、気持ちも高まってきました。

多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

とき 11月25日(日)
12時45分～

ところ 庄原市民会館

問い合わせ 庄原市民俗芸能大会実行委員会事務局
(生涯学習課文化振興係内)

☎(0824)731189

演目・出演団体

演目	指定名称	団体
田植踊	国指定「塩原の大山供養田植」	小奴可地区芸能保存会
神舞・猿田彦舞	国指定「比婆荒神神楽」	比婆荒神神楽保存会
胡子	県指定「神楽-入門・塩浄・魔弘・荒神・八花・八幡-」(比婆斎庭神楽)	広島県神社庁比婆郡西部支部
牛供養田植	県指定「供養田植」	比和町郷土芸能振興会
敦盛さん	市指定「民謡『敦盛さん』」	敦盛さん保存会
花田植	市指定「牛供養『花田植』」	広島県立庄原実業高等学校花田植同好会(指導：庄原市郷土芸能研究サークル)
刀・扇・傘踊り	市指定「三河内刀踊り・扇踊り」	三河内郷土芸能保存会
田楽	市指定「向泉の田楽」	向泉芸能保存会

(この事業は、財団法人ひろしま文化振興財団の助成を受けておこないます。)

13年ぶりに民謡「敦盛さん」が復活

庄原市でお座敷歌として歌い継がれてきた市無形民俗文化財の民謡「敦盛さん」の保存継承に取り組もうと「敦盛さん保存会」が今年3月、13年ぶりに再結成されました。

「敦盛さん」は、古くから門付歌として歌い継がれてきたものを、昭和30年代になって小唄調に変え、花柳幸之輔さんが舞台舞踊として振り付けました。昭和38年に保存会が結成され、日本武道館で行われた民謡コンクールで優秀賞を受賞したほか、NHKなど全国にテレビ放送され、その名が広く紹介されました。保存会は、平成6年に三味線や歌の指導をしてきた河面絹子さんが亡くなったことから、その後活動が休止となっていました。

元会員の清水秀子さんが「敦盛さんは庄原のすばらしい郷土芸能。何とか保存継承できないだろうか」と庄原子どもミュージカルを立ち上げた児玉節さんに相談。「楽笑座」のオープンイベントで踊りを見た児玉さんも「庄原にこんなすばらしいものがあるのか。ぜひ後世に継承しなければいけない伝統芸能」と感じていました。

それをきっかけに、児玉さんらは元会員を中心に再結成を呼びかけ、26人が集まりました。会員の半分は元会員。元会員の記憶を頼りに、毎月第2・4土曜日に市民会館などで稽古に励んでいます。

「庄原市民俗芸能大会が計画されたことで、後世に伝統芸能を伝えていきやすい環境ができました。私たちも貴重な発表の場として楽しみにしています。ぜひ、多くの人に見に来てほしい」と児玉会長は話しています。



「敦盛さん」のストーリー
平家の若武者平敦盛と、二条大納言の娘玉織姫は、御所の華やかな宴で出会い結ばれます。しかし玉織姫が15の春、一の谷の合戦で平家は敗れ去りました。永江の里(庄原地方)へと落ちのびた姫は敦盛を想い、平家再興を待ちわびますが、時は無常過ぎ去ります。



児玉節会長(左)と踊りを指導する花柳幸之輔さん(右)。「ピークの時は月の半分は敦盛さんを踊りに全国各地を興行していた」と話す。